

新年祝賀会の概要

2025年1月19日（日）11時よりマカエ市、Clube CEPE（Clube dos Empregados da Petrobrás）において、リオ州日伯文化体育連盟（連盟）、日伯文化協会（文協）、リオ日系協会及びリオデジャネイロ日本商工会議所の共催、在リオデジャネイロ日本国総領事館後援による「新年祝賀会」が、イベント主催者、マカエ松田移民館協会会長のルシア・ダ・シルバ・ペスターナ氏と名誉会長の松田四郎先生に出迎えられ盛大に開催されました。

ブラジルと日本の国歌斉唱後、ヴァルテル・吉田連盟副会長の司会のもと、コージ・深沢連盟会長と真鍋尚志在リオデジャネイロ日本国総領事から新年のご挨拶がなされました。

松田先生の先導で、真鍋尚志総領事、コージ・深沢連盟会長、栗原健一郎リオ日系協会会長による酒樽の蓋を割る伝統的な鏡開きが行われました。また、マカエ市市長代理として同市スポーツ長官のセザール・マイエ氏、リオ日本商工会議所を代表してMODEC社のハミルトン・タバレス・ネリ氏及びペトロブラス社を代表してホセ・マスカト・ジュニオ氏もこの鏡開きに加わりました。

日伯文化協会（ICBJ）副理事長、中村拓文治氏の音頭のもと参加者全員で乾杯し、新年を祝いました。

リオ日系協会太鼓グループの太鼓が鳴り響き、参加者皆さんに活気をつけていました。そして、昼食時に太鼓グループコーディネーターのマリオ・キミオ・マツモト氏の主導のもとカラオケで歌を楽しんでいました。

そして、昼食にはニテロイ、リオデジャネイロ、ティンガア、テレゾポリス、サンタクルス/イタグアイ、ノヴァ・フリブルゴ、パプカエアの日系協会から提供された日本料理に皆さん舌鼓を打っていました。

元気いっぱいのルシア・ペスターナ・デ・マカエさんは、今回の新年会が日伯友好交流130周年記念の公式ロゴを使用したリオデジャネイロ州初のイベントですと満足そうに語っていました。



ルシア・ペスターナ会長とヴァルテル・吉田連盟副会長



新年ご挨拶される真鍋総領事



松田先生の音頭で鏡開き



活気を与えるリオ日系協会太鼓グループ

日本語版著者：青木 宏
写真：アナ・パウラ・リベイロ、ジュリア・キタダ